

平成 23 年 7 月 26 日

奈良市教育委員会委員長

小谷勝彦 様

奈良市議会 政翔会

幹事長 浅川 仁

教育基本法・学習指導要領の目標を達成し、地域に最も適した

教科書採択の実現を求める申し入れ書

平成 18 年の教育基本法改正では、新たに「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことが教育の目標の一つとして示された。これを受けて改正された学校教育法では、義務教育の目標の一つとして「我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導く」ことが規定され、これらの教育法規の改正に基づいて伝統と文化の尊重や、我が国と郷土を愛することを重視した学習指導要領の改訂が行われました。

文部科学省の教科用図書検定調査審議会は、教育委員会が装丁や見映えではなく、内容を考慮した綿密な調査研究を公正かつ適正に行い、各採択権者の権限と責任のもと、地域の実情に最も合致した適切な教科書を採択していくことや、教育基本法の改正内容や学習指導要領改訂を十分に理解し、適切な採択を行なうよう求めている。

そこで教育委員会におかれては、上記に記す趣旨を踏まえ、教育委員会の権限と責任のもと、教育基本法、学習指導要領の目的・目標等の達成をめざし、最も適した教科書採択をされるよう強く要望する。